



第194号 編集発行 愛知学院大学 事務局 庶務課 470-0195 愛知県日進市岩崎町 阿良池12 電話(0561)73-1111(代)

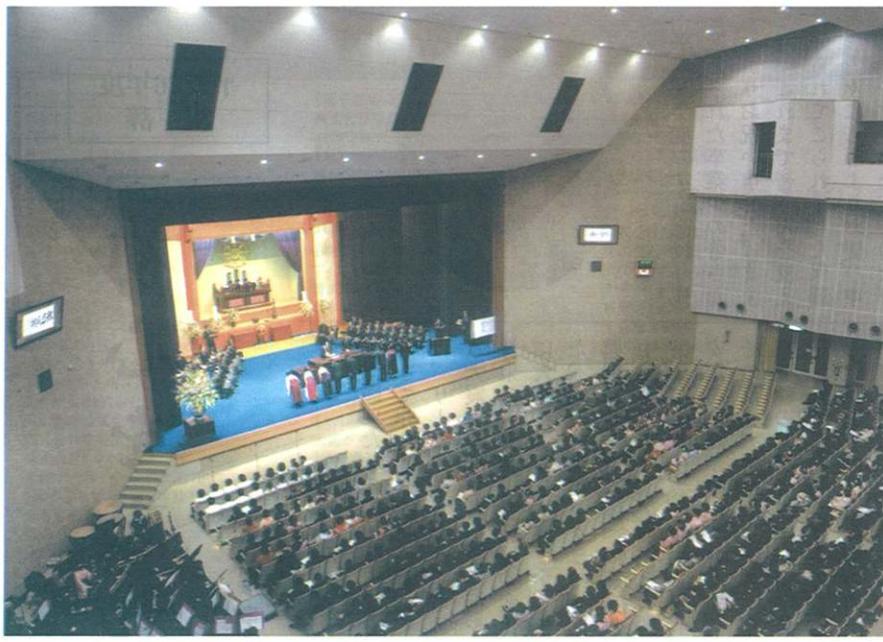
平成26年度 学位記授与式

# 夢の実現に向かって 着実な歩みを

学長 佐藤悦成

ここに、御来賓各位のご臨席を賜り、また列席の教職員一同とともに、2245名の皆様に学士の学位を授与する運びとなりました。本学の学

士課程を無事修了され、学位を得られたことに深く敬意を表するとともに、篤くお慶びを申し上げます。また、大学の各研究課程を121名の



ここに、御来賓各位のご臨席を賜り、また列席の教職員一同とともに、2245名の皆様に学士の学位を授与する運びとなりました。本学の学

たりして、入学時とは大きく変わっている方もお見えでしょう。しかし、それが皆さんの成長を今大いにお祝い申し上げるものです。同時に、入学時の皆さんの夢を、卒業を機にもう一度思い返して己を見直し、自分自身の夢の実現に向けて大きく羽ばたいてほしいと心から願っています。そのためには、大道を正々堂々と歩み続けてこれからも止むことなく学び続けてほしいと思います。

多彩な分野の本を読み、自分の専門領域のみならず、広い知識を貪欲に吸収するように心がけてください。その中で自らに対する誇りが生まれ、周囲からの評価を受けて自信が湧いてきます。誇りは自らの内から生まれるものですが、自信は努力に対して周囲からもたらされるものです。現在、我々は世界中の人々と容易に繋がる環境に生活しています。単純な問題については、答えを比較的容易に入手できます。一方、皆さんがこれから活躍される社会では答えが容易に探せない問題に直面する場合も多々あります。その時には私たちは自分で考えなければなりません。考えるという事は、自分の過去の経験と知識をもとに、事柄の可能性やつながりを新たに組み直し、自分の中で整理することということです。そこでこれまで蓄積してきた学問や経験が生きてきます。この過程は、いかなればいくつもの事柄に同時進行で対応する我々人間の優れた特性です。一方、ネットワークから入手できる情報は、順を追って発見できる逐次的なものです。この違いが、いくらICT技術が発展しても、考えている

- ことにならない最大の理由ではないでしょうか。一つずつ知識を積み上げていくことはそれ自身大変重要なのですが、全く新しいことを創造的に生み出すとするならば、多くを体験し、様々な知識を蓄え、それらを柔軟に組み合わせ、新しいものを創り出す訓練を積む必要があります。
- それが皆さんの大学での4年間であったと思います。本日の卒業式で学生生活に一区切りをつけ、新しい夢を胸にスタートラインに立つ皆さんを、愛知学院大学はこれからも応援していきます。卒業する皆さんには、ときには母校を訪ね、同窓会活動の場として、また生涯学習の場として、大学で過ごした時間を人生の基礎としてこれからも積極的に活用していただけるように願っています。
- 卒業して、社会で活躍される皆さんは、機会を与えられた様々な場面で、本学で身につけた行学一体・報恩感謝の精神を活かし、活躍されることと思えますし、そのように期待しています。
- 最後に、宝玉は磨いて初めて光り輝き、人を魅了します。今後も絶えず自らを省みて、こころを磨き、研鑽を積みつつ、人の痛みや社会の問題を敏感に感じとり、寛容な心を大切にして活躍されることを心より願っています。皆さんへの私の餞として、自ら責任感を持って、正々堂々と夢の実現に向かって着実に歩みを進めて下さい。
- 皆さん一人ひとりが、自らの人生を切り開いて、心豊かに社会生活を送られることを祈りつつ、わたくしからの式辞といたします。
- 本日は誠にありがとうございます。

## 平成26年度 学位記授与式を挙げる

平成26年度の学位記授与式は、歯学部と歯学研究科が3月6日(金)、補元キャンパス・百十周年記念講堂と補元キャンパス・歯学部基礎教育研究棟でそれぞれ挙行された。また、文学部・心身科学部・商学部・経営学部・法学部・総合政策学部・大学院(歯学・薬学研究科を除く)・法科大学院は3月14日(土)、日進キャンパス・百十周年記念講堂にてそれぞれ挙行される。

本学を巣立つ卒業生の皆さんが社会で活躍されることを祈念します。



- ### 26年度 学位記授与式表彰者
- 学位記授与式で送られる各受賞者は次のとおり。
- |                    |                      |                     |        |
|--------------------|----------------------|---------------------|--------|
| <b>〔管長賞〕</b>       | 宗教学科 早川 由里子          | 現代企業学               | 村瀬 未帆  |
| 歴史学                | 洞田 夕里依               | 現代社会法               | 中川 政和  |
| 国際文化学              | 岩野 祐里                | 総合政策学               | 伊藤 彰吾  |
| 日本文化学              | 林 春伽                 | 医療薬学                | 廣瀬 由夏  |
| グローバル英語学           | KITANO FELIPE MAKOTO | 歯学                  | 都築 香里  |
| 心理学                | 尾崎 雪乃                | 現代企業学               | 藤下 陽平  |
| 健康科学               | 吉原 杏奈                | 現代社会法               | 神田 幸大  |
| 健康栄養学              | 鈴木 千晶                | 経営学                 | 木村 萌美  |
| 商学                 | 春原 美紀                | 現代企業学               | 木下 愛梨  |
| ビジネス情報学            | 平岡 弘雅                | 現代社会法               | 木下 空見  |
| 現代企業学              | 毛受 達久                | 経営学                 | 川口 貴広  |
| 法律学                | 濱本 尚宏                | 現代企業学               | 金城 嗣磨  |
| 現代社会法              | 五ノ田 颯也               | 現代社会法               | 古田 敦嗣  |
| 総合政策学              | 亀谷 彩乃                | 法律学                 | 石川 幸平  |
| 医療薬学               | 吉田 直城                | 現代社会法               | 石川 晴俊  |
| 歯学                 | 竹内 理沙子               | 総合政策学               | 田中 大幹  |
| 歯科衛生学              | 石川 美帆                | 総合政策学               | 山田 梨花子 |
| <b>〔初代学長小出有三賞〕</b> | 石川 治                 | 総合政策学               | 山田 知子  |
| 宗教学科               | 森 優菜                 | 医療薬学                | 高木 理央  |
| 歴史学                | 神谷 友季衣               | 歯学                  | 杉山 陽子  |
| 国際文化学              | 岡庭 優奈                | 歯科衛生学               | 陳 坤    |
| 日本文化学              | 木村 信貴                | 専攻科                 | 三島 藍   |
| グローバル英語学           | 田中 千尋                | 専攻科                 | 竹市 幸代  |
| 心理学                | 生田 有理想               | <b>〔歯学部臨床実習優秀賞〕</b> | 宮澤 綾   |
| 健康科学               | 西尾 美紅                | 宮澤 綾                | 前野 健史  |
| 健康栄養学              | 原田 あやみ               | 山本 さゆり              | 小野 晋太郎 |
| 商学                 | 加藤 理沙                | 小川 茉莉亜              |        |
| ビジネス情報学            | 栗山 佳代                | 大場 柚依               | 山田 希子  |

平成26年度 祝辞

「初心を忘れずに」

理事長 中野重哉



を念願いたします。

平成26年度の学位記授与式を迎えられた卒業生の皆さん、衷心よりお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを支え

見守られてこられました保護者の方々にも心よりお慶び申し上げます。また、このたびの学位記授与式にあたり学生

皆さんは、大学生活を通して社会人としての基礎教育・教養を習得し、さらに各学部

さて昨今は、国内においては、リーマンショック、東日本大震災を経て長引く不況や

その反面、アベノミクス、東京五輪の影響で日本経済が若干好転する兆しが見えて、厳しい状況下ではあるものの、回復傾向にあると思われ

「行学一体」の「行」とは修行のことですが、学業や研究、労働やボランティアなど

道元禪師の著書『辨道話』(べんどうわ)の一文に、「仏法には修証一等なり。初心の

価値があり、重みがあるということ。皆さんも社会人として第一歩を踏み出します

「報恩感謝」とは、社会で

人生そのものであるという思いでわが道を歩んでいただきたいと思ひます。

平成26年度 祝辞

「常に研鑽と努力を」

学院長 小出忠孝



今後学院といたしましても、少子化の進む中、経済を再生し、国際的な存在を示すことのできる人材を養成してまいります。大学の「ガバナンスの強化」「個性・特色を生かした教育研究の活性化」「財政基盤の確立」など教育改革を推進し、卒業生の皆さんが誇りうる大学、愛知学院として後押ししてまいります。

常に時代のニーズに積極的に対応して学部、学科、研究科増を行い、中部の主要大学になっていきます。さらに本学では昨年4月より名古屋市の中央に名城公園キャンパスを開設し、商・経営・経済の3学部の教育を行っています。

諸君は、この様な名門愛知学院大学で多くの優秀な先生に恵まれ学業を修め、多くの先輩・後輩に囲まれ人間形成に努めることも出されました。さらに諸君には社会の各界でめざましい活躍を遂げている11万有余の先輩もいます。県内

「優秀な多数の先輩」

麻生財務相は1月の衆院本会議の財政演説で「景気は緩やかな回復基調が続いている」とし、経済政策「アベノミクス」で企業収益が拡大し、雇用改善や賃上げにつながる「経済の好循環が生まれ始めています」と強調しています。また1月末の全国財務局長会では

全国の景気の総括判断を「回復の動きが出ています」とし、また内閣府の景気動向指数では、景気の基調判断を「改善を示している」としているが、「変化の幅は大きくはない」と付け加えている。一方1月に発表された有効求人倍率は年平均で1.09倍と前年を上回り、また14年平均の完全失業率は3.6%と4年連続で改善されている。一方本学卒業生の就職内定状況は昨年、一昨年迄と比べて大変好調である。景気回復状況の年に卒業できる諸君は大変幸運であり、就職後もこの好運を逃さぬ様頑張り続ける事を望みます。

どうぞ、皆さんに夢と希望と幸多からんことを祈念して、お祝いの言葉といたします。

「景気は緩やかに回復」

諸君が明日から門出する社会は現在厳しい状況にあり、地球温暖化による異常気象の頻発、ギリシャの政情不安などによる欧州経済への懸念、原油安による資源国の景気の先行き不安、「イスラム国」と称する中東地区の過激派集団の暴挙など、安閑としておられない状況です。わが国としては平和を守り、経済的支援に貢献する事が重要で、景気回復が求められています。

「廃墟の中から復興」

わが国は1945年に敗戦という有史以来の危機に陥りました。しかし昭和の先人は敗戦の廃墟の中から立ち上り、涙ぐましい努力により経済復興を成しとげました。さらにその後の石油ショック、近年のバブル崩壊等、度重なる危機に對しても、その都度全力をあげてそれを乗り越え、驚異的な成功を収め今日の経済大国を創り上げてきました。さらに近年の世界的不況はかつてない経済危機であり、幾多の困難も乗り越えなければなりませんでした。しかしわが国は世界に誇る高い技術力と勤勉な国民性、さらに豊かな個人金融資産などの強みを持つっており、この日本人の力を活用し、活力ある日本を再び創りあげねばなりません。それを実行できるのは21世紀を背負って立つ若い諸君です。特に将来、社会の中堅リーダーとして活躍が期待される本学卒業生の諸君です。

「白鷺の33度目の優勝」

した。昭和の大横綱大鵬の32回優勝を抜いた快挙であり、さらに2度目の5場所連覇を、大鵬以来史上2人目の全勝優勝で飾ったのも見事でした。白鷺は特別大型の力士でもなく、ただ毎日努力精進、稽古の積み重ねで今日の強さを作りあげた力士で、稽古場の「すり足、鉄砲」等相撲の基本を誰よりも多く積み重ねた結果、「怪我」が少ない力士であり、それが相撲寿命を伸ばしている。さらに白鷺は非常にデオにより対戦相手の相撲を十分に研究し、対策を考えて土俵に上がると聞いています。十分な稽古と十分な相手力士の研究、さらに天性の柔軟な体質、これらの努力の成果が今日の大偉業を成し遂げたものと考えられ、大横綱にしてこの様な努力があると感心させられる。卒業生諸君、白鷺が優勝回数の大記録を抜いた記念すべき年に、大学を卒業する縁から考えて、これから

悔いのない生涯を送られる事を熱望して止みません。

現在の様に変化の激しい時代では、その変化に的確かつ速やかに対応する研究と努力が必要で、幸いに諸君は本学に於いて、それに対応できる力を学び身につけ、さらにそれを実行できる若さをもっています。その自覚と自信を持ち社会の変化に的確に対応し、常に努力精進される事を期待するものです。しかし将来は安易な道ばかりではなく、厳しいものがあると覚悟しなければなりません。人生80年時代の長い人生で順調な時も決して奢ることなく、また逆に不遇の時にも決して挫ける事なく、常に全力をあげて進まれる事を切望します。

「常に努力精進」

「常に努力精進」

「常に努力精進」

「常に努力精進」

「常に努力精進」

# 卒業生へ贈る言葉

## 大学での 学びを生かして



商学部長  
脇田弘久

ご卒業おめでとうござい  
ます。皆さんは、この4年間社  
会で活躍するために必要な専  
門知識や能力を習得するとと  
もにその人間力を高めること  
に励みました。このたび、めでた  
くその教育課程を修了し学士  
(商学)の学位を授与されま  
した。商学部教職員一同、心

からお祝いを申し上げます。  
昨年春、名城公園キャンパ  
スが開校しました。その際、  
多くの方は慣れ親しんだ日進  
キャンパスから都市型の新キ  
ャンパスに移り大学4年次を  
過ごされました。2つのキャン  
パスで大学生活を送り、そ  
れぞれのキャンパスで貴重な  
経験をされたことと思います。  
大学という場所は、一面で  
は、多くのチャレンジをし、  
たくさんの失敗を経験するた  
めの場所です。皆さんはそこ  
で多くのことを学んでくれた  
ことでしょう。

皆さんは、「健康長寿社会」  
の実現に向けて、専門家とし  
ていろいろな難問や課題に遭  
遇するでしょう。そのような  
局面に遭遇した時には、日本  
で唯一で世界的にも類を見な  
いユニークな「心身科学部」  
で得た学びを思い出して下さい。  
専門家としての皆さんの  
活動の場は、国内だけでなく  
世界にも広がってきています。  
一層の研鑽を積んでください。  
また、学部と皆さんとの絆が、  
より強固となるように、「ホ  
ームカミングデー」も設けて  
おります。

## 繋がりを大切に



総合政策学部長  
森下英治

ご卒業おめでとうござい  
ます。皆さんが入学される直前に  
東日本大震災があり、本年度  
は、御嶽山の噴火と遭難、桜  
島の噴火があり、卒業を待ち  
わびている時期に、イスラム  
国による邦人への愚行が明ら  
かになりました。

自然災害は人間には手に負  
えず、テロは個人では立ち向  
かえず、無念さが募るばかり  
です。しかし、このような世  
の中だからこそ、情報交流や  
情報分析、危機管理がますます  
重要になります。  
情報交流は人との繋がりの  
中で行われるものです。普段  
の生活の中で得られるそれは、  
「情報です」と主張しておら  
ず、うっかり見過ごしても問  
題になることは少ないですが、  
多くのものを私たちに発信し  
ています。一方、海外旅行な  
どの非日常の中での人々の口  
にする情報には普段とは違う  
注意が必要でしょう。

皆さんは、これから社会に  
出て、会社などの組織の一員  
として、同時に、地域の住民  
として社会の一翼を担うこと  
になります。ここでも情報交  
流は大切です。多くの原因や  
関係などが混在した諸問題が  
沢山あり、仲間たちと解決策  
を見出すことが期待されます。  
総合政策学部で、多様性や  
多角的な視点での問題把握・  
解決を学んだ皆さんが、その  
学びを活かし、活躍されるこ  
とを信じていますが、簡単に  
はありません。これから実践  
の中で多くの壁にぶつかり、  
乗り越え、成長されていくこ  
とを心より祈っています。

## 健康長寿社会の 実現に



心身科学部長  
大澤俊彦

ご卒業おめでとうござい  
ます。心からお祝い申し上げま  
す。皆さんは、「心身科学部」  
で4年間研鑽されて得られた  
「こころとからだの健康」に  
関する専門家としての知識を、

社会で生かすために大学院へ  
の進学や一般企業、医療機関  
や行政、教員などへの就職な  
ど、新たな出発に胸を膨らま  
せておられるでしょう。  
日本人の平均寿命は80歳を  
超え、世界トップクラスの超  
高齢化時代を迎えてきていま  
す。しかし、高齢化に伴い、  
認知症や生活習慣病、関節疾  
患などのために介護が必要と  
なる高齢者が急増しているの  
が現実です。そこで重要とな  
るのが、健康上の問題で日常  
生活が制限されることなく生  
活できる期間、すなわち、「健  
康長寿」です。

皆さんは、「健康長寿社会」  
の実現に向けて、専門家とし  
ていろいろな難問や課題に遭  
遇するでしょう。そのような  
局面に遭遇した時には、日本  
で唯一で世界的にも類を見な  
いユニークな「心身科学部」  
で得た学びを思い出して下さい。  
専門家としての皆さんの  
活動の場は、国内だけでなく  
世界にも広がってきています。  
一層の研鑽を積んでください。  
また、学部と皆さんとの絆が、  
より強固となるように、「ホ  
ームカミングデー」も設けて  
おります。

## 自信をもって 御活躍を



法学部長  
栗田直樹

ご卒業おめでとうござい  
ます。在学中の日々の御努力が、  
この成果に結びついたのだと  
思います。皆さんは、これか  
ら先の新しい世界を前にして、  
さぞ心を弾ませていることと  
でしょう。OB講座等で接する  
機会もあったと思いますが、  
法学部の卒業生には、社会の  
第一線で活躍されている先

輩たちが大勢います。皆さん  
も、今日からその一員となら  
れるわけです。すでに指導的  
な立場に立たれた先輩方と話  
す機会がありますが、法学部  
出身者は論理的思考力がきち  
んと鍛えられているから、ど  
の部署に配属しても使える人  
間が多いということをよく耳  
にします。皆さんも、これか  
ら専門や職場は違ってもいえ  
各分野で大いに自信をもって  
活躍して下さいを祈って  
います。

法学部では、同窓会の活動  
も随分活発です。よかつた  
ら、それにも参加してみて  
下さい。皆さんと再び欲談で  
きる日を楽しみにしています。

## 健闘を祈ります



文学部長  
林 淳

ご卒業おめでとうござい  
ます。4年間の愛知学院大学で  
の学生生活は、いかがでした  
か。楽しい思い出がたくさん  
あったと言っていただけなら  
ば、一教員として、これ以  
上の喜びはありません。クラ  
ブ、サークル、ゼミなどで友  
達ができたでしょうし、就活

や卒業論文作成では、緊張を  
強いられ、苦労したかもしれ  
ません。思い出というには生々  
しくて、振り返る余裕は、ま  
だないかもしれせんね。し  
かしそうしたことのの一つ一  
つが、将来のあなたの人  
生の肥しとなって、あなたの  
未来を支えてくれることを信  
じてやみません。

皆さんは、「健康長寿社会」  
の実現に向けて、専門家とし  
ていろいろな難問や課題に遭  
遇するでしょう。そのような  
局面に遭遇した時には、日本  
で唯一で世界的にも類を見な  
いユニークな「心身科学部」  
で得た学びを思い出して下さい。  
専門家としての皆さんの  
活動の場は、国内だけでなく  
世界にも広がってきています。  
一層の研鑽を積んでください。  
また、学部と皆さんとの絆が、  
より強固となるように、「ホ  
ームカミングデー」も設けて  
おります。

## 「自律心」と「利他の心」を 忘れずに



経営学部長  
飯島康道

卒業生の皆さん、ご卒業お  
めでとうございませす。心よりお祝  
い申し上げます。心よりお祝  
い申し上げます。  
皆さんは、経営学部で総合的  
なマネジメント能力を備え、社  
会でリーダーシップを発揮でき  
る人を目指し、4年間研鑽を積  
まれてきました。その学びの中  
で「問い方」を重視し、自分の  
「問い」を深化させ、自らの気  
づきを得て、仲間と学びあうこ

との大切さに触れられてきたこ  
とと思います。  
4年間の有意義な学生生活を  
踏まえ、職業人として社会に飛  
び出すときがきました。そこで  
大切にしたいいただきたいこと  
の一つが、「自律心」と「利他の  
心」です。ここでの「自律心」  
とは、他者に依存、追従せず、  
自分の頭で考え、自分の足で歩  
き続ける姿勢を意味し、「利他  
の心」とは、組織のメンバーや  
取引先、お客様をはじめとする  
関係者の皆様に幸せにしたい、  
世のため人のために役立ちたい  
という心です。

皆さんは、これから社会に  
出て、会社などの組織の一員  
として、同時に、地域の住民  
として社会の一翼を担うこと  
になります。ここでも情報交  
流は大切です。多くの原因や  
関係などが混在した諸問題が  
沢山あり、仲間たちと解決策  
を見出すことが期待されます。  
総合政策学部で、多様性や  
多角的な視点での問題把握・  
解決を学んだ皆さんが、その  
学びを活かし、活躍されるこ  
とを信じていますが、簡単に  
はありません。これから実践  
の中で多くの壁にぶつかり、  
乗り越え、成長されていくこ  
とを心より祈っています。

参考文献  
坂本光司著  
「強く生きたいと願う君へ」  
WAVE出版



# 名誉教授称号授与

本学教授会は、平成27年3月に退職される8名に、平成27年4月1日付で名誉教授の称号授与を決定した。名誉教授の称号を授与されるのは次の先生方。



心身科学部客員教授 伊藤元雄

伊藤客員教授は昭和40年名古屋大学文学部哲学専攻心理学専攻卒業。昭和45年同大学院文学研究科心理学専攻博士課程規定単位修得後退学。平成11年博士(心理学)の学位取得。  
名古屋大学文学部心理学専攻助手を経て、昭和50年本学教養部講師、51年同助教授、58年文学部心理学(現心身科学部心理学)助教授、平成3年同教授、10年本学大学院文学研究科心理学専攻(現心身科学研究科心理学専攻)教授、25年より客員教授。  
日本生理心理学会の評議員・編集委員、日本心身医学会代議員等の役職を歴任。  
伊藤先生は基本的かつ先進的、独創的な研究成果を多数国内外に発表されるとともに、心理学の「基礎実験演習」「総合研究演習(卒論研究)」等にコンピュータを積極的に活用



心身科学部教授 杉下守男

杉下教授は昭和43年茨城大学文学部心理学専攻卒業。昭和46年名古屋大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了。  
愛知県立大学文学部助手を経て、本学へは昭和54年教養部講師として着任。57年同助教授、平成6年教授、9年大学院文学研究科心理学専攻(現心身科学研究科心理学専攻)教授、15年心身科学部に転籍し教授。  
日本心理臨床学会代議員、日本臨床動作学会常任理事を歴任、長年臨床動作法の講師として指導にあたられている。35年間の在職中、教養部教務主任、心理臨床・教育相談室室長、心理臨床センターセンター長等を歴任され、心理臨床センターの発展に貢献され

する実践的教育に取り組み、学生の指導に尽力された。



経営学部客員教授 大橋靖雄

大橋客員教授は昭和41年本学商学部商学卒業。46年同大学院商学研究科経営学専攻博士課程を単位取得後退学。  
昭和46年本学商学部助手に採用され、翌年同講師、52年助教授、61年教授。平成5年経営学部に転籍し教授、10年大学院経営学研究科教授、25年より客員教授。  
44年の長きにわたって商学部・経営学部の発展に尽力され、商学部教務主任、学生委員会委員長等を務め大学行政に貢献された。

た。また、平成元年から現在まで学生相談室カウンセラーを務められ、数多くの学生の心の支援活動に尽力された。



経営学部客員教授 松原敏浩

松原客員教授は昭和42年愛知教育大学卒業。昭和44年名古屋大学大学院教育学研究科修士課程修了。平成5年博士(教育心理学)の学位取得。  
昭和45年大同工業大学助手に着任後、同大講師、助教授を経て昭和63年教授。本学へ

は平成5年経営学部教授、大学院経営学研究科教授として着任。平成25年より客員教授。着任後は経営学研究科主任を6年間、研究科長を4年間務められ、同研究科設置から14年間にわたり大学院行政に多大な貢献をされた。  
松原先生の主要な研究テーマは経営心理学の中のリーダーシップ論で、日本労働学会理事、産業・組織心理学会理事、経営行動科学学会理事、会長等を歴任、また日進市において報酬審議会委員・会長、外部評価コーディネータを務められるなど、学外においてもご活躍された。



歯学部教授 田中貴信

田中教授は昭和44年東京医科歯科大学歯学部卒業。昭和48年同大学院歯学研究科修士課程修了、歯学博士の学位取得。  
昭和48年東京医科歯科大学歯学部助手、56年同講師。48年から3年同米国イリノイ大学へ研究出張、帰国直後に同士と共に現在の歯科臨床部門における重要学会、日本顎顔面補綴学会の前身となる研究会を設立。55年には、現在の日本磁気歯科学会となる研究会も発足。先生は両学会および日本補綴歯科学会等多くの学会で要職を務められた。  
本学へは56年助教授として着任、平成5年臨床教授、10年教授。以来、歯学部附属病院長、歯学部長、歯学研究科長などを歴任され、大学の発展に尽力された。  
また、長年の研究の成果である「磁性アタッチメント」は平成4年世界に向けて発売され、ブームを巻き起こした。



歯学部教授 大野紀和

大野教授は昭和44年本学歯学部歯学卒業。48年同大学院歯学研究科修了、歯学博士の学位取得。  
昭和48年本学歯学部解剖学第一講座(現口腔解剖学講座)助手、50年同講師、57年同助教授、平成3年より教授。  
歯学体理事を長年務められ、歯学体総合優勝に貢献、文武両道の校風を築かれた。また、学生委員長として学生とともに補元祭、新入生歓迎会等を改革実施されるなど、学生指導に尽力された。  
学外では私立歯科大学学生部課長、愛知県歯科医師会国家試験委員を務められた。平成10年からミヤマー連邦シヤン州で現地歯科医師とともにボランティア活動として僻地歯科診療を毎年されているほか、ヤング歯科大学と共同の研究を進め、学会発表・論文作成など多数の実績を残された。

松浦客員教授は昭和40年同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業。昭和42年同大学院文学研究科社会学専攻修士課程修了。  
福岡県社会保育短期大学社会福祉科研究助手を経て、昭和46年本学教養部講師として着任された。51年同助教授、62年同教授、平成25年から客



教養部客員教授 松浦國弘

員教授。この間、昭和53年から2年間教養部教務主任を務められた。  
松浦先生の研究の中心課題は人権で、「現代の社会と人間関係」、「関東・東海・被差別部落史研究」などを著し、社会における差別撲滅のために一貫して社会的弱者の立場から研究を続けられた。  
教育面では常に真摯に学生と向き合われ、「手抜きのない授業」を実践され、その結果授業アンケートでも高い評価を受けるなど学生の教育に尽力され、学生の厚い信頼を得ている。



教養部客員教授 吉田道興

吉田客員教授は、昭和40年駒澤大学仏教学部禅学卒業。昭和50年同大学院人文科学研究科博士課程仏教学専攻を満期退学。  
昭和56年より本学教養部講師として着任され、61年同助教授、平成6年より同教授、平成25年から客員教授。34年の在職中に教養部教務主任、また平成12年より4年間教養部長及び留学生別科長を務められ多大な貢献をされた。  
学外においては曹洞宗宗務庁より各種委員を委嘱されているほか、大本山永平寺の史料全書編纂委員等も務められ、大本山より刊行された「永平寺史」など分担執筆も担当。  
吉田先生の専門研究は曹洞宗の宗祖道元禪師の伝記と思想で、「道元禪師伝記史料集成」は、従来の史実に時代と共に付加された史料を加えるなど曹洞宗の教団史、信仰史を知る上で、後世に残る大著となっている。

吉田先生は、昭和53年から2年間教養部教務主任を務められた。松浦先生の研究の中心課題は人権で、「現代の社会と人間関係」、「関東・東海・被差別部落史研究」などを著し、社会における差別撲滅のために一貫して社会的弱者の立場から研究を続けられた。教育面では常に真摯に学生と向き合われ、「手抜きのない授業」を実践され、その結果授業アンケートでも高い評価を受けるなど学生の教育に尽力され、学生の厚い信頼を得ている。

## 東海東京証券(株)と経済学部 提携講義を開講

本学経済学部では、2015年度より東海東京証券株式会社との提携講義を開講する。昨年11月28日(金)、覚書を取り交わした。  
この講義は、東海東京証券のスタッフの方々のリレー講義(「経済学特講I」2単位・春学期)として経済学部3年次生以上を対象に2015年度から開講される。  
証券市場にまつわる諸トピックスを実務的な視点から取り上げて、生活者にとって必要な証券投資のための基礎的な知識を学生に身につけてもらうとともに、資産運用における自己責任時代に要求される投資の心構えを学ぶことを目的としている。また、将来、証券マンとして働く際に必要な実務的知識や、顧客に金融商品を勧める際に求められるモラルについても学ぶ。  
この講義は、企業の第一線で活躍されている講師の方々から直接「生きた経済」を学ぶ機会となり、本学部の実践的教育の一層の充実に資するものと期待される。

な知識を学生に身につけてもらうとともに、資産運用における自己責任時代に要求される投資の心構えを学ぶことを目的としている。また、将来、証券マンとして働く際に必要な実務的知識や、顧客に金融商品を勧める際に求められるモラルについても学ぶ。  
この講義は、企業の第一線で活躍されている講師の方々から直接「生きた経済」を学ぶ機会となり、本学部の実践的教育の一層の充実に資するものと期待される。

## 2013年度 最優秀論文賞(研究部門)を受賞

2014年11月21日より仙台で開催された第44回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会・学術大会において、歯学部高齢者歯科学講座の池戸泉美非常勤講師が、2013年度日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会最優秀論文賞【研究部門】を受賞し、授賞式並びに受賞講演が催された。  
池戸氏は2001年より、金属アレルギーの研究・臨床に従事し、その集大成として論文を発表した。  
論文概要は歯科用金属が原因でないかと疑われる患者が歯科を受診する症例が増加している。そこで、患者の動態を把握する目的で、愛知学院大学歯学部附属病院へ口腔金属アレルギー外来へ来院し、パッチテストを施行した1000名について臨床統計学的に検討を行い「歯科用金属による金属アレルギーを疑った

患者の疫学的調査」と題し報告を行った。  
この論文は、歯科領域ばかりでなく、医科領域においても人工関節、ペースメーカーや血管ステントなど金属の使用が多様化してきているため、臨床治療において指標となると考えられる。  
今回の受賞は医学系の学会において、歯科医師が受賞したことに意義がある。今後の池戸氏の健闘を期待する。

池戸氏は2001年より、金属アレルギーの研究・臨床に従事し、その集大成として論文を発表した。  
論文概要は歯科用金属が原因でないかと疑われる患者が歯科を受診する症例が増加している。そこで、患者の動態を把握する目的で、愛知学院大学歯学部附属病院へ口腔金属アレルギー外来へ来院し、パッチテストを施行した1000名について臨床統計学的に検討を行い「歯科用金属による金属アレルギーを疑った



## 就職活動体験記

## 就職活動を振り返って



心身科学部  
魚住亮太  
久光製薬(株)

私が就職活動の中で一番大事にしていたことは「自分を信じること」でした。決して私は自分に自信があったわけではありません。本当に自分がやっていけるのかという不安の方が大きかったです。ですがマイナスなことばかり考えるのではなく、自分を信じてやっていたら絶対に結果はついてくると信じていました。その結果が内定に繋がったと思います。

就職活動が始まったころは自分がなをしたいかもはっきりと決まっていなかったため、合同説明会や単独の説明会に積極的に参加し、とりえず就職活動しているといった感じでしたが、企業をいくつか見ていくうちに自分が興味のある企業とあまり関心がない企業と分かれていきました。選考に進むと思うような結果が出ない時期もありましたが、気分転換に友人と遊んだり、先輩に相談することで就職活動に対して再度やる気が出てきました。今、就職活動を振り返ると、自分と向き合う良い機会であり、自分を成長させてくれるものでした。

皆さん就職活動は自分に自信を持ってポジティブに頑張ってください。きっと良い結果がついてくると思います。

## 自分を信じる



文学部  
岡庭優奈  
三菱UFJニコス(株)

「最後に信じられるのは自分」これが私が就職活動を通して学んだことです。

私が就職活動で大事にしていたことが2つあります。この2点も自分を信じてたどり着いた結論です。

一つは「thinkとmoveのバランス」私は考える前にまずやってみるタイプです。もちろん失敗もしましたが、反省点を踏まえて考え直し、再び行動する、ということの繰り返しでした。徐々に成功することも増え、就職活動の軸も決まりました。

二つ目は「自信のあるフリをすること」スーツを着ている間だけは、不安や迷いを忘れ「私は完璧だ」と思い込みました。堂々とした振る舞いや明るい笑顔などをかなり意識すると、自然と本当に自信がついてきます。

就職活動は情報戦です。多くの情報を自身で手に入れ、自分にとって価値のあるものを見極めて取捨選択することが大切です。友達や家族の言うことはあくまでも参考。他人の意見に流されてしまえば就職活動の軸もぶれてしまいます。ですからもちろん、他人がやってないから自分もやらない、ではなく、他人がやってないからこそ自分はやる、という考え方が大切です。

迷ったら自分を信じるしかありません。AかBかを選んだ答えよりも、Aを答えとして選んだそのあとが大切です。自分次第で結果はいくらでも変わります。多くの人と関わり多くの情報を得て、自分にとってより価値のあるものを見極めてください。みなさんの就職活動が充実したものになるよう心から応援しています。みなさんは就職活動生として、私は新入社員として、ともに頑張りましょう。

## 就職活動を振り返って



経営学部  
山田鳳雛  
JTBグループ  
(株)JTB中部

第一志望から内定を頂いたときの心境は喜びではなく安心だった。「よかった、これでようやく夢を叶える舞台に立てる」

大学1年の夏、初めてキャリアセンターを訪れた。そこで最初に言われた一言に私は凍り付いた。「君にはこれだけは誰にも負けない、誇れるものがあるかな?」

私には誇れるものなど一つも無かった。

それからの4年間は、自分に足りないものを必死で模索し続けた。

なかでも転機となったのはやはり、1年の秋に受けた「キャリア・デザイン」だろう。忘れもしない、最初の講義の日。「自身の目標・夢」について周りの学生たちがペンを走らせる中、私は何も書けなかった。頭の中が真っ白になった瞬間だった。

実際に就職活動が始まってからは、まさに自分自身との戦いだった。周りの就活生にあって私に無いものがあまりに多過ぎた。私は要領が悪く、不出来なことが多い。「人と同じ分の努力ではだめだ。足りない能力は努力で補う。」その一心で就職活動を続けた。

後悔だけはしたくなかった。

内定を勝ち取る頃にはA4用紙に書き殴った自己分析の枚数は100枚を超えていた。

この努力は私の自信に繋がっている。

そして今、私には夢がある。その夢を叶えることが私の目標だ。

## 就職活動を振り返って



商学部  
浅野慶大  
(株)ミキモト

私の就職活動は、社会勉強の一環だと考えるところからスタートしました。というのも、祖父の代から家業をしており、将来独立自営したいという夢があったので初めは業種、業界関係なく多くの説明会に足を運び、自身のスキル、成長にと就職活動を進めていきました。私は、思ったらすぐに行動するという性格であり、大学生活は数多くの事に挑戦しました。部活動や教職の単位取得、大学からカナダへの海外語学留学、自己開拓してチャレンジした海外インターンシップも経験しました。

数多くのネタ作りに入力してきた大学生活でしたが、いざ一人で就職活動をするとなると全くの力不足で、エントリーシートの書き方や面接での言葉使い、予定の管理すらしっかりと出来ていないほどでした。そこで名城公園キャンパスのキャリアラウンジの方々には大変お世話になりました。また両親や友達など心強い味方がいた結果が今に繋がっていると思っています。

私は、有り難いことに内定を頂いた企業が複数あり、選択できる立場にありました。悩んだ末、今の企業を選択したのですが、理由は当然企業選びの軸に沿っており、また将来の夢への通過点に何かのチャンスが掴めるころだと感じ選ばせて頂きました。

就職活動を通じて、幅広い世代との出会いが人間的に私を成長をさせてくれました。また応援して頂いた名城公園キャンパスのキャリアラウンジの皆様、友達や家族に心から感謝いたします。次は私が仕事を通じて、社会に貢献しグローバルな視点を持てる人材として努力していきたいです。

## 就職活動を振り返って



総合政策学部  
山田梨花子  
長久手市役所

就職活動で大切にしたいことは「情報収集」です。地域のことを知るためにボランティア活動に参加したり、市のイベントに行ってみたり、インターンシップに参加したりと実際に自分の身をもって経験することで得る情報、前年の内定者の先輩から聞く試験のポイントやアドバイス、キャリアセンターで第三者の視点から見た自分自身についてなどの周りの人から教えてもらう情報の2つをできるだけ多く吸収しました。教養試験の勉強ももちろん大切ですが、それだけでは得られない知識や情報を一層多く持つことで、自分自身の自信にもなり、長久手市のことを知るほどモチベーションも高く保つことができました。

公務員は結果が出るのが遅く、周りの友人が内定を貰っていくごとにプレッシャーを感じ、悩むこともありました。しかし「絶対に合格する」という意識を高く持ち続け、必要な情報を集めてきちんと準備することで、不安もなくなり、良い結果に繋がると思います。

就職活動、時には辛いこともあると思いますが、頑張れば頑張るほど、その後の喜びは大きくなります。周りには家族、友人、大学の先生がいます。悔いの残らないよう、精一杯頑張ってください!応援しています。

## 公務員試験の準備と受験を振り返って



法学部  
五ノ田颯也  
石川県庁(行政職)

私は地元である石川県が好きなので、以前から石川県のために働きたいと思っていました。そのため、石川県の行政全般に関わることができる県庁職員を目指そうと思いました。

県庁職員になるには公務員試験に合格しなければいけません。しかし、県庁の試験は出題科目がとて多く、難易度もかなり高いです。そのため、1年の秋頃からこつこつと勉強をしてきました。3年になると、いよいよ勉強にも本腰を入れねばと思い、より良い勉強の環境を求め、公務員試験予備校であるTACに通うことを決めました。その後は、昼は大学で、夜は予備校で授業を受けるという生活が1年くらい続きました。そして、4年の6月に筆記試験を受け、8月には面接に臨み、何とか合格することができました。

私が合格できた要因としては、とにかく勉強したことだと思います。公務員試験は筆記試験がとて重要で、そのため、筆記試験合格のため、3年の夏過ぎからは毎日ひたすら勉強していました。1日10時間を超える日もよくありました。なぜそんなに勉強できたかという、石川県が好きだということに尽きると思います。石川県の発展のために働きたい、能登の活性化の力になりたいという気持ちが、私に勉強することを促してくれました。しかし、机に向かってると、ふと「何でこんな勉強しているのだろう…」と思う時もありました。その時は、1日遊んだりして、気持ちをリフレッシュさせていました。そのような工夫も大事だと思います。

公務員試験を経験して、自分がやりたいことを叶えようとするには、苦しいがとにかく地道に必死に取り組むしかないと感じました。それは、公務員を目指している人であろうが、民間企業を目指している人であろうと同じであると思います。そのため、やりたいことが決まっている人は、自分が今すべきことに真摯に向き合い、必死に取り組んでいくべきだと思います。これから就職活動に臨む皆さんが自分のやりたいことを叶えられることを願っています。

## 就職活動を振り返って



短期大学部  
山鹿碧優  
春日井市役所

歯科衛生学科の就職活動は、10月頃から本格的に始まります。私は歯学部附属病院における臨床実習を通して公衆衛生や予防に興味を持ち、将来は行政機関や保健センター等で働いている、地域の方々の歯科予防や検診に携わりたいと考え、春日井市職員採用試験を受けました。試験内容は、一般教養・適性検査・小論文・集団討論・個人面接でしたが、前々から小論文や面接などを繰り返し練習していた為、余裕を持った状態で試験に臨めました。

就職活動で大切なのは、前準備と自己分析です。私は求人を探すうえで、「給料が良い」や「家が近い」等の理由で選ぶのではやりがいがないと思い、将来自分はどんな歯科衛生士になりたいか、自分は何に興味があるのかを未来計画を立て、そこから就職先を見極めることにしました。

何事も前々から始めて損はありません。実習終了後からは、国家試験対策・卒業論文・卒業試験など忙しくなるので、焦らずひとつひとつ乗り越えていけば最後には良い結果と未来が待っていると思います。人生の中での大きな節目でもあると思うので精一杯頑張ってください。

## 就職活動を振り返って



薬学部  
北本祥久  
アポットジャパン(株)

私は就職活動を進めていく中で、企業選びの軸として外資系であること、強い分野・領域を持っていることを重要視するようになりました。まず、外資系企業は内資系企業に比べて実力主義であり、営業成績が給料に反映されやすい企業が多くあります。そのため、自分の頑張りや給料に反映されることは、働く際に大きなモチベーションになると考えました。さらにその企業が強い分野・領域を持っていることは、自身がMRとして働いた際の売上げ向上につながるかと考えました。アポットジャパン栄養剤事業部を志望した理由は、上記の2点に加え、1日目、2日目から大学病院を担当することができ、NSTのサポートも行っているという他企業にはない点も魅力的に感じたからです。また、就職活動中は、実務実習で仲良くなった他大学の友人や、インターンシップで出来た製薬企業を志望する全国の友人の存在が大きな支えとなりました。

企業には一つひとつのカラーがあります。どこに就職するにしても、多くの企業をみて自分に合っている、行きたいと思える場所を探してみてください。実務実習、卒業論文、就職活動を両立させることは大変だと思いますが、時間を上手に使って頑張ってください。



ボンド大学での交換留学について

文学部グローバル英語学科3年

光延萌子

この度は私は、オーストラリアのボンド大学に半期、交換留学をしてきました。交換留学としてボンド大学に行くことは大学2年次からの私の大きな目標でした。しかし、その頃の私の英語力は低く、まず1年イギリスに語学留学をしてからボンド大学の交換留学に応募することを決めました。帰国後、実際に選ばれ、ボンド大学の正規の学生として行けることになり本当に嬉しかったです。



ボンド大学では言語学を中心にアカデミック英語を学びました。大学生活は正直とても苦勞しました。講義を受けた後、学生同士でディスカッションをする時間が必ずあり、ネイティブの学生たちの中に混ざってするのは決して簡単なものではありませんでした。私の場合は絶対に他の学生より劣りたくなかったので講義前は、何十時間かけて教科書を熟読し復習にも時間をかけました。中でも言語学であった45分のプレゼンテーションでは発表の1、2カ月前から準備し発表前は毎日、滞在していたホストファミリーに聞いてもらい改善していました。その他の授業でもついていくのに必死で、分からないことがあれば常に先生をつかまえて聞いていただきました。この留学でもとても感謝していることはボンド大学の先生方です。

書道で国際交流

書道部がカンボジア王立法経大学へ

書道道具を寄付

書道部の活動において、名古屋大学の国際支援活動へ賛同し、カンボジア王立法経大学 (royal university of law and economics) へ書道の講義に必要となる道具の寄付を行いました。

書道部が部活動の際に使用している書道教室には、卒業された先輩方が残して下さった道具が多数ありました。今回その一部と、クラブ顧問の明園先生にご協力頂き、書道文化受贈生の残された書道道具も一緒に、寄付させて頂きました。カンボジアでは、日本文化を学ぶ講義の一つとして「書道」が取り扱われております。しかし、カンボジアでは書道の道具を入手することが困難であるため、学生数分の道具を準備することができなかつたそうです。今回の寄付により、無事に学生数分の道具が集まり、講義を行うことができたそうです。



(書道部)

今回の国際活動により、われわれも日々精進して、取り組んでいます。書道を通し国際交流を行うことができたことをうれしく思うとともに、機会がありましたら積極的に今回のような活動を行いたいと思います。

図書館情報センター主催 第3回「ブック・アピール・コンテスト」実施



図書館情報センター主催による第3回「ブック・アピール・コンテスト」は、各学部から3名の審査委員による厳正なる審査の結果、次の7名の方々が受賞された。今回も小説・エッセイ・哲学書・ビジネス本・学術本など様々な分野の「おすすめ本」についての応募があった。

- ①最優秀賞 1名 富田 桃子 文学部歴史学科4年 『アンネ・フランクの記憶』
- ②優秀賞 1名 井之上 航平 商学部商学科2年 『ソフィアの世界』
- ③佳作 5名 江口 桃子 商学部商学科2年 『ボクは坊さん。』 藤田 夏実 商学部商学科2年 『大学生のための文学レッスン(近代編)』 文学部宗教学文化学科4年 神田 幸大 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』



文学部の学生は、平成26年12月9日(火)に日進キャンパス本部棟2階の学長室にて佐藤悦成学長より、また商学部の学生は同12月16日(火)に名城公園キャンパスCubic 1階にて図書館情報センター・足立祐輔事務局長より表彰状と記念品が授与された。なお、受賞作品の展示を図書館情報センター新館1階および名城公園キャンパスCubic 1階にて開催した(12/9~1/16)。さらに、受賞作品の図書については、推薦図書として各5冊(日進3冊・名城公園2冊)を購入し、借り出しもできる。過去の受賞作品の図書は、多数の学生に読まれており、是非、この機会に読んでいただきたい。

平成26年度薬学部就職内定状況(平成27年2月20日 現在)

主な内定先	
【メーカー等】	株式会社マツモトキョシ 株式会社ユタカファーマシー
【病院】	愛知医科大学病院 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院 あま市市民病院 医療法人医仁会 さくら総合病院 医療法人五星会 菊名記念病院 医療法人大医会 日進おりと病院 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 岐阜県厚生農業協同組合連合会 公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院 国立大学法人香川大学医学部附属病院 国立大学法人岐阜大学医学部附属病院 社会医療法人厚生会 木沢記念病院 社会医療法人大雄会 社会医療法人抱生会 丸の内病院 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 地方独立行政法人桑名市総合医療センター 地方独立行政法人静岡県立病院機構 津島市民病院 徳洲会グループ 独立行政法人国立病院機構 豊橋市民病院 藤田保健衛生大学病院
【官公庁】	愛知県庁 岡崎市役所 岐阜市役所 名古屋市役所 防衛省自衛隊(薬剤官)
【進学】	愛知学院大学大学院 名古屋市立大学大学院

第47回リーダーシップ・トレーニング

大町セミナーハウスにて開催

2月25日(土)27日(日)の日程で、長野県大町セミナーハウスにて、各クラブの学生責任者を対象とした「第47回リーダーシップ・トレーニング」を開催した。今年度は運動部50名・文化部45名の学生95名、教員9名、職員9名、合計113名が参加した。今年度は佐藤学長も参加され、リーダーたちを激励した。開講式では高木敬一学生部長より「大学における課外活動とリーダーの役割」と題して基調講演があった。その後、「自己分析」「ミーティング方法」についての講義を行った。2日目は、「課題解決と役割分担」「チームワークとコミュニケーション」「ガイダンス(学生課・キャリアセンター)」の3つの講義を実施した。どの講義も特色があり、学生は熱心に受講していた。「系統別懇談会」では、学生自身による議事進行でク

ラブが抱える課題について討議し、最終日の閉講式にて各グループの代表学生が懇談会の討議の成果を発表した。研修に参加した各クラブ学生責任者には、今後の活動において、学生生活における課外活動の意義・目的を認識し、人間的成長・社会への貢献意識の向上へと繋げ、研修の成果を存分に発揮して欲しいことを期待したい。



平成27年度学納金の納付について

春学期	振込用紙発送日：4月1日
	学納金納付期限：4月1日～4月30日
秋学期	振込用紙発送日：10月1日
	学納金納付期限：10月1日～11月4日

学納金は、発送します専用の「振込依頼書」を使って、金融機関の窓口で振込手続きをしていただくようお願いいたします。用紙記載銀行の本支店窓口からの振込みは、手数料が無料となります。また、本学よりあらためて領収書は発行いたしませんので、振込手続の際の「振込金受取書」は大切に保管してください。

〈問い合わせ先〉  
学生課  
☎0561-73-1111(代)